

作成日 : 2020 年 2 月 6 日
改訂日 : 年 月 日

安全データシート

【1. 製品及び製造者情報】

製品名 : iMAS SG&トレー
会社名 : YAMAKIN 株式会社
住所 : 〒543-0015 大阪府大阪市天王寺区真田山町3番7号
電話番号 : 06-6761-4739
FAX番号 : 06-6761-4743

【2. 危険有害性の要約】

GHS 分類

物理化学的危険性 : 引火性液体 区分外
健康に対する有害性 : 皮膚に触れると炎症する恐れあり。

ラベル要素

・表示



・注意喚起語 : 警告
・危険有害性情報 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き

- ・安全対策 : 取扱中は、皮膚に触れないように注意し、適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
ミスト、蒸気、スプレー、粉塵、ヒュームの吸入を避けること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・応急措置 : 皮膚 (または髪) に付着した場合、汚染された衣類を脱ぎ、多量の水と石鹼で洗うこと。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。その後も洗浄を続け、眼の刺激が続く場合は直ちに眼科医の診察を受けること。
飲み込んだ場合、気分が悪い場合は医師の診察を受けること。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。
ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。
気分が悪い時または呼吸に関する症状が出た場合は、医師の診断/手当を受けること。
- ・保管 : 容器を密閉し、直射日光を避けた換気の良い場所で保管すること。
火気の近くでの保管は避けること。
- ・廃棄 : 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託するか、もしくは地方公共団体の規則に従うこと。

【3. 組成・成分情報】

単一製品・混合の区別 : 化学品（混合物）
 成分及び含有量 :

化学物質名または一般名	含有量(%)	CAS No.
(メタ) アクリル酸エステル組成物	95 以上	—
その他	1~5	

【4. 応急措置】

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入が起きないように体を傾斜させること。水でうがいをすること。
 気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。
 皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水と石鹼で洗うこと。
- 眼に入った場合 : 直ちに多量の流水で5分間以上洗い流すこと。
 直ちに、医師の診断を受けること。
 眼球を傷つける可能性があるのでこすらないこと。
- 飲み込んだ場合 : 嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入が起きないように体を傾斜させること。事故の場合又は気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
 飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けること。
 速やかに口をすすぎ、口の中をよく洗うこと。
- 応急措置をする者の保護 : 救急者は、保護具を着用する（「8. ばく露防止及び保護措置」の注意事項を参照）。
- 医師に対する特別な注意事項 : 直ちに医師の診断を受け、この容器のラベルに記載された注意事項または SDS を示す。

【5. 火災時の措置】

- 消火剤 : 噴霧水、泡消火剤、粉末消火剤、乾燥砂類
- 特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 容器が熱に晒されているときは、移さない。
 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
 火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
 延焼の恐れのないよう水スプレーで周囲のタンク、建物等の冷却をする。
- 消火を行う者の保護 : 火災により有毒ガスやヒュームが発生するので、適切な呼吸用保護具（送気マスク、自給式呼吸器等）を着用する。

【6. 漏出時の措置】

- ・人体に対する注意事項、保護具及び緊急時 : 関係者以外の立ち入りを禁止する。
 作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を

- 措置
- 着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
処理が終わるまで十分な換気を行う。
- ・環境に対する注意事項 : 環境中に放出してはならない。
河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
 - ・封じ込め及び
浄化の方法／機材 : 漏出液を密閉可能な容器にできる限り集める。
残留液は土、砂などに吸着させて密閉可能な容器に回収する。
回収時は、火花の出ない器具を用いて回収する。
回収した漏出物は廃棄場の注意に従って廃棄する。
 - ・二次災害の防止策 : すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

- 取扱い
- : 容器は注意して取扱い、開ける。
使用時には飲食しない。
皮膚との接触を避ける。
眼との接触を避ける。
眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。
全ての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。
皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水または石鹸水で洗う。
- ・技術的対策
- : 火気厳禁。
静電気放電に対する予防措置を講ずる。
取扱いは換気の良い場所で行う。
取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備などを設けその位置を表示する。
作業中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。
「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の保護具を着用する。
取扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。
- ・局所排気／全体換気
- : 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の局所廃棄、全体換気をおこなうこと。
- ・安全取扱注意事項
- : 知見なし
- 保管
- ・技術的対策 : 保管場所には必要な採光、照明及び換気の設定を設ける。
 - ・保管条件 : 法規に従った施設に保管する。
熱から離して補完する。
着火源から離して保管する—禁煙。
容器を密閉しておくこと。

【8. ばく露防止及び保護措置】

- 管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度 :

成分	化学式	日本産業衛生学会 (2019年版) mg/m ³	ACGIH (2019年版) mg/m ³
アクリル系モノマー	—	—	—
光開始剤	—	—	—

設備対策 : この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
ばく露を防止するため、全体換気装置又は局所排気装置を設置すること。

保護具

- ・呼吸器の保護具 : 本製品を多量に使用する場合、または密閉空間で使用する場合には、送気式もしくは自給式呼吸器を推奨する。
- ・手の保護具 : 不浸透性手袋（ウレタン製等）
- ・眼の保護具 : 保護眼鏡（ゴーグル型）または保護面（防災面）
- ・皮膚及び身体の保護具 : 帯電防止性能を有する、長袖保護衣および安全靴を推奨する。

衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。

【9. 物理的及び化学的性質】

物理的状態、形状、色など

- ・物理的状態 : 液体
- ・形状 : 液体
- ・色 : 淡黄色
- ・臭い : 特異臭
- ・沸点 : データなし
- ・引火点 : 250℃以上
- ・比重 : データなし
- ・爆発特性 : データなし
- ・蒸気圧 : データなし

【10. 安定性及び反応性】

- 安定性・反応性 : データなし
- 危険有害反応可能性 : データなし
- 避けるべき条件 : データなし
- 混触危険物質 : データなし
- 危険有害な分解生成物 : データなし

【11. 有害性情報】

- 急性毒性（経口） : データなし
- 急性毒性（経皮） : データなし
- 急性毒性（吸入：気体） : 分類対象外
- 急性毒性（吸入：蒸気） : データなし
- 急性毒性（吸入：粉塵・

ミスト)	
皮膚腐食性及び刺激性	: データなし
眼に対する重篤な 損害性/刺激性	: データなし
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性 (単回 ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性 (反復 ばく露)	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし
その他	生殖毒性区分 2 の成分を 0.1%以上 3%未満含有する

【12. 環境影響情報】

水生環境有害性(急性)	: データなし
水生環境有害性(慢性)	: データなし
オゾン層への有害性	: モントリオール議定書で列記された成分の含有情報なし
残留性 / 分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし

【13. 廃棄上の注意】

残余廃棄物	: この製品は排水溝中に廃棄してはならない。法令に従って、残余廃棄物、製品の包装材を廃棄処理する。 産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、廃棄物の内容を明確にして、処理を委託する。 法的規制に適合した設備と方法で焼却処理を行う。 焼却条件によっては有毒ガスが発生する可能性があるため、除外装置のある焼却炉の使用を推奨する。
汚染容器及び包装	: 情報なし

【14. 輸送上の注意】

国際規制	
国連番号	: なし
品名 (国連輸送名)	: なし
品名 (国連輸送名 英名)	: なし
分類または区分	: なし
容器等級	: なし

国内規制

- ・陸上輸送 : 法の基準に従い積載・輸送する。
- ・海上輸送 : 法の基準に従い積載・輸送する。
- ・航空輸送 : 法の基準に従い積載・輸送する。
- 安全対策 : 保護具、消火器を携帯する。
必要であれば、イエローカードを携帯する。
包装や袋が破れないように丁寧に扱う。
容器に漏れの無いことを確認し、落下、転倒、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

【15. 適用法令】

- 労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9）
該当しない
- 化学物質管理促進法 : 該当しない
(PRTR 法)
- 毒物及び劇物取締法 : 該当しない
- 消防法 : 法第 9 条の 4・危険物規制令別表第 4 指定可燃物 可燃性液体類
- 外国為替及び外国貿易法 : 輸出貿易管理令別表第 1 の 16 項に該当するので、経済産業省のガイドラインの参照や事前相談が望ましい

【16. その他の情報】

本製品は歯科用材料です。用途の変更や一般家庭での使用は避けてください。
 注意事項は、通常の手扱いを対象としたものであり特別の手扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施してください。取扱説明書は、使用者がいつでも閲覧できるようにし、本製品の使用中止、廃棄するまで大切に保管してください。
 また記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をするものではありません。
 本文所は製品の安全情報を記したものです。品質保持上の所要件については技術資料、仕様書などをご参照ください。保護具に関する詳細については（社）日本保安用品協会（TEL ; 03-5804-3125）にお問い合わせください。

【参考文献】

- ・ NITE 化学物質総合情報提供システム
- ・ 職場の安全サイト
- ・ 日本産業衛生学会 許容濃度の勧告（2019 年度）
- ・ ACGIH – TLVs and BEIs（2019）
- ・ 国際化学物質安全性カード（ICSC）
- ・ Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)
- ・ 作業環境評価基準
- ・ 産業衛生学会雑誌
- ・ TLVs and BEIs (ACGIH)
- ・ 米国連邦規則集（OSHA）

- IARC Monographs on the Evaluation of Carcinogenic Risk to Humans (IARC)
- 法規制物質リスト (日本ケミカルデータベース)
- ケミカルデータベース (日本ケミカルデータベース)
- GHS 分類結果データベース (製品評価技術基盤機構 NITE)
- EU CLP 規則 (EC) N1272/2008 付属書VI 表 3.1

【改訂履歴】

00 2020 年 2 月 日 初版